

こんな活動です

# 町ぐるみ「和木学園構想」における放課後子ども教室「わきあいキッズ」の取組

山口県和木町	●活動名	●関係する学校名
	和木町放課後子ども教室「わきあいキッズ」	和木町立和木小学校 和木町立和木中学校

協働活動開始年度	平成 20 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成25年3月26日指定	地域学校協働本部	有
活動区分	—	—	地域課題解決学習	—	地域人材育成	—
—	—	—	放課後子ども教室	—	—	—
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	—	配置人数	—	地域学校協働活動推進員等の数	—	配置人数
—	—	—	—	—	—	4人
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	—	無
—	5人	—	—	—	—	—
参考URL	<a href="http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/">http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/</a>					
●連絡先	和木町教育委員会事務局			☎ 0827-53-3123		



●活動の概要・経緯  
コンパクトで連携しやすいことから町全体を1つの学び舎とみなし、生涯学習に力を入れる中で町全体の活性化をめざすのが「和木学園構想」である。和木町コミュニティ・スクール委員会では各団体や学校の代表者が集い、共に「めざす子ども像」を考えると同時に、連携することで何かできることがないかを話し合う。「子どもたちに豊かな学びと体験学習を」という思いで生まれたのが、「わきあいキッズ」の活動である。地域人材が指導者やサポーターとなり、昔あそび、スポーツ体験(ソフトボール、野球、サッカー、ミニバス、剣道、パレー、弓道)、造形遊び、自然観察(海・山)、ちぎり絵、歴史教室、販売体験等を行っている。地域協育ネットの仕組みを生かして、学校や指導者と連携し保護者の協力も得ることで、活動の充実を図っている。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ・昔あそびの取組では、毎週水曜日、約50人の小学生が地域の指導者とサポーターとともに活動している。日本古来のおもちゃや遊びを紹介するとともに、ボール等を用いた軽スポーツや体力づくりに繋がる運動も行っている。集団での人との関わり方を学ぶ場ともなっている。
- ・スポーツ少年団と連携して、サッカー、ソフトボール、野球、パレーボール、ミニバス、剣道、弓道の体験活動を行っている。
- ・だがしや体験の取組は、小学校のCSルームでの2回の準備活動を経て、6月上旬の「すくすくフェスタ」で実売体験を行っている。売上金は社会福祉協議会に寄付している。

### 【実施に当たっての工夫】

- ・町内出身の環境学習指導者や陶芸家、郷土史家といった専門家の協力を得て、地域に根ざした体験活動を実施している。
- ・地域学校協働活動推進員がコーディネーターの役割を果たし、サポーターの配置や保護者との連絡調整を行っている。
- ・なるべく多くの希望者のニーズに応えるため、学校と相談しながら日程調整を行っている。

### 【関係機関・団体等との連携状況】

- ・和木町コミュニティ・スクール委員会での「めざす子ども像」を反映させている。(指導者、コーディネーターが委員を兼ねている)
- ・放課後児童クラブや小学校とも連携をとり、その日の希望に応じて柔軟に参加できるようにしている。
- ・地域の福祉施設「わきあいあい苑」と連携した職場体験実習の実施。

## ● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・活動に参加している指導者やサポーターからは、「子どもたちと触れ合うことで元気になった」という声が聞かれる。また、子どもが屋外で活動するようになり、健康的になったという声もある。
- ・地域の様々な方からの温かい指導や支援を通して、子どもたちの自己肯定感が生まれ、落ち着いて生活できるようになってきている。
- ・スポーツ体験を経て、スポーツ少年団に入団する子どもも多く、自分のやりたいスポーツを見つけるよい機会となっている。
- ・昔あそびや自然観察では参加者が年々増加し、子どもたちのよい居場所となるとともに、保護者同士が交流できる場ともなっている。

## ● その他

「コンビ学習」(コンビナートとコンビネーションをかけ合わせている)～ふしぎ探検隊 集まれ！未来の科学者たち～と称して、地元企業の三井化学(株)岩国大竹工場とのコンビネーションで小学校を会場にして科学実験教室を行っている。



「手遊」  
「昔あそび」  
「中そび」  
「のには」  
「は」  
「もサポーター」  
「の」



「コンビ学習」  
「のジャン」